

支部活動が飛躍的に活性化

静岡県代協 2019年度通常総会を開催



菊地会長

静岡県代協(菊地勝男会長)は5月23日、静岡市の男女共同参画センターで2019年度通常総会を開いた。菊池会長は、支部活動への参加者が飛躍的に向上したことを、同活動の活性化が図れていることを報告した。なお、総会では2018年度事業報告や2019年度事業計画など5つの付議事項を審議し、いずれも承認可決された。

明るい未来を願う バランスを冷静に保つ

総会に先立ち挨拶した菊池会長は、静岡県代協が掲げる事業のうちの最重要課題である支部活動の活性化について、「各支部長をはじめ支部役員の方々の尽力により、休眠状態であった支部活動が蘇るなど、支部行事への参加者の飛躍的向上がみられた」と会員代理店に謝辞。そのうえで「目まぐるしく変化する業界の流れへの対応と冷静に保ち、令和元年に向けた静岡県代協の明るい未来を願いたい」と呼

びかけた。次いで、来賓から損保協会中部支部静岡損保会の山本耕平会長と日本代協の津田文雄理事が挨拶。ぼうさい探検隊や地震保険の普及といった損保協会の取り組みについての代協への協力を呼びかけた山本氏は「今後も静岡県代協と連携し、地域特性に応じた防災・減災への取り組みを進めることで、安全安心の地域未来を作っていきたい」と挨拶。また、静岡地区での特有の取り組みについては自転車事故防止への取り組みについてふれ、「静岡県では『自転車』の安全で適正な利用の

損保大学課程受講者が目標上回る



中島氏

促進に関する条例」が今年4月に施行され、さらに10月からは賠償責任保険の加入が義務づけられることになっている。この条例に関連するような各種取り組みについてもぜひ、協力をお願いしたい」と述べた。

日本代協の津田理事は、日本代協の主要事業である損害保険大学課程コンサルティングコースの受講や会員増強、代理店賠償への加入などについて積極展開を促した。このうち静岡県代協での前年度のコンサルティングコース募集実績については、目標18名に対して46名の申込みだったなど目標を大きく上回る実績を示したことに感謝の意を表した。

当日は、長年に渡り代協活動に尽力した会員代理店への功労者表彰を行い、大井川支部の中島秀男氏を表彰した。挨拶した中島氏は「静岡県代協で理事を務めていたころ、代協のためを思い代協会員用のTシャツやのぼり旗を作ったことがある。何かの機会があれば皆さんもぜひ、こうした

ものを作りながら仲間作りを進めていってほしい」と会員増強の取り組みを促した。

総会では2019年度事業計画では、各委員会の主要事業の概要を菊池会長が説明。このうち広報活動について「支部からの意見が活発化し、密な情報交換ができた。総会後にはセミナーが開かれ、日本代協理事で教育委員長の石川英幸氏が「今後の代理店経営を考える」日本代協アカデミー創設の背景と必要性」をテーマに講演した。

